


A  指導において、児童生徒と接する際にどのようなことに留意したらよいでしょうか？

**実践例2** 児童生徒の思いを引き出しながら課題を用意し、指導においては、目標に向けて、意欲が継続するような配慮、声掛けをしながら実施しましょう。



小5年

障害の種類・程度や状態等	知的発達に遅れはなく、自閉症の診断がある。他者の意図や感情の理解が苦手であり、クラスメイトとのコミュニケーションにおいてしばしばトラブルを起こすことがある。
通級の活用状況	自校通級4.5分×週2回（個別4.5分×週2回、2学期途中から個別の1回を小集団4.5分×週1回）
本人の思い・保護者の願い	クラスメイトと休み時間などに楽しく遊びたい。相手の心情を考えた発言や行動ができるようになってほしい。

1. 本実践例の概要

通級を利用することでどのような姿になりたいのか、得意なことや苦手なことなどを本人・保護者から聞き取り、目標設定や日々の課題設定、指導の流れに可能な範囲で反映した。目標を本人に分かりやすい内容にして共有することにより、通級に主体的に参加する意識を高めるようにした。また、選択する場面を設定したり、好きなことを取り入れたりするなどして、本人が参加しやすく、意欲が継続できるように配慮した。

2. 目標・指導内容・年間指導計画（年度当初作成例）

- (1) 目標
- 誘う、断る、励ます、説明する、質問するなど、人と関わるために必要なコミュニケーションの仕方を知り、通級指導担当教員や他の通級メンバーに対して、相手の心情を考えた発言や行動ができる。
  - 手先の巧緻性を高め、髪の毛を結んだり、靴紐やエプロンなどの衣服のひもを結んだり、ボタンなどの留め具を一人で止めることができる。
- (2) 指導内容
- 小集団の安心できるグループで、人と関わる自信と意欲を育てながら、話し合ったり協力したりしながら進める課題に取り組む。
  - 思いや願いを引き出しながら、年齢に見合った身だしなみや制作（裁縫など）など、手先の巧緻性を高める課題に取り組む。
  - 一週間の出来事をシンボルや簡単な絵などで視覚化しながら聞き取り気持ちや状況を整理しながら言語化する。

3. 指導略案

- (1) 今月の目標（5月の実践）
- 教師のメモや絵を見ながら、伝えたい内容や気持ちを時系列に沿って、話することができる。
  - 感情が高ぶっても、約束のメモを見直したり、教師の声かけで短時間で切り替えることができる。
  - 決まった時間細かい作業を続けることができる。

(2) 指導の流れ

時間	活動内容	児童の様子	準備、支援、評価
5分	今日の活動内容の確認  ・流れを書いたホワイトボードでタイムスケジュールを確認する	POINT! 活動の流れについて事前に本人と相談する方法も考えられます。  ・ホワイトボードを見なかったり、聞いていなかったり	・イラストを用いたり、終えたものにはOをつけていくなど進捗も視覚的に分かるものを用意する。また、一緒に声に出して読むなどする。

**POINT!** カウンセリングマインドが基本ですが、「知りたい」という気持ちを前面に出して、聞き直したり正しい言い方を伝えたりしましょう。

10分	フリートーク（今週の出来事） ※タイムタイマーで時間を把握  ・今週一番印象に残っているエピソードについて話す。  ・なかなかエピソードが出てこない。  ・時間軸がバラバラであったり、主語が頻繁に変わったりする。	・保護者や通常の学級担任からの聞き取りをもとに「日本代表のサッカーの試合があったよね。」などと興味のある話題を提供する。  ・聞き取りながら、ホワイトボードや紙に話した内容を書きとめ、登場人物、時系列を確認できるようにする。
13分	担当教師と二人で勝敗のあるゲームの実施 ※タイムタイマーで時間を把握  ・ゲームの選択 神経衰弱 すごろく オセロ  ・ゲームの際の約束事を確認する。	・なかなか選ぶことができない。  ・これまで実施した回数等から、教師が決めることも考えられる。  POINT! 運などが関係するゲームも入れ、勝敗が最後までわからないようにします。また、本人が選択することにより、取り組みやすくなります。  POINT! 約束を破ってから叱るのではなく、約束を守り続けられるように、約束をそっと指さすなどにより、意識が継続できるような手立てを実施します。
7分	順番を守る/「もう一回」「待った」など言葉で伝える/負けそうになって最後までする  ・ゲームの実施  ・手順を具体的に示す ・教師が、待ってほしいときや負けそうなどときの正しい伝え方のモデルを示す  ・ゲームの振り返り  ・負けている時にも、途中で投げ出さずにゲームを続けることができた、など感想を話す。	・約束は文字化（メモ）しておき、本児の様子を見ながら、随時確認する。 ・約束事が守れた時には、その場ですぐに褒める。 ・約束を守れなかった場合には、注意するのではなく、文字化したものを指さしたり、静かな声で確認したりする。  ・本児が気づいていない点にも触れ、頑張ったところを褒めるとともに、次回以降、さらに頑張れそうな点についても確認する。
5分	楽しみタイム ※タイムタイマーで時間を把握  ・好きなアニメキャラクターの顔をアイロンビーズで作る。  POINT! 好きなアニメキャラクターを活用することで、苦手な細かい作業に取り組みやすくしています。	・保護者や通常の学級担任から聞き取った情報を活用する。
5分	今日の振り返り  ・各活動について、3段階（◎、○、△）で自己評価をする。  POINT! 自己評価と他者評価を比較することで、より正確な自己評価ができるようになります。特に自分自身が頑張ったと思う点を認めることが大切です。併せて、指導開始時点で、活動内容別にどれぐらい頑張れるかを自己診断することも考えられます。	・自己評価に悩んでいる様子。  ・タイムスケジュールに沿って、「〇〇があったよね」などと声掛けをし、振り返りの手助けをする。 ・教師からの評価とその理由を伝え、自己評価と合わせて振り返る。

POINT! 自己評価と他者評価を比較することで、より正確な自己評価ができるようになります。特に自分自身が頑張ったと思う点を認めることが大切です。併せて、指導開始時点で、活動内容別にどれぐらい頑張れるかを自己診断することも考えられます。

(3) 指導の評価

- 通級担当者とのゲームは、不利な状況になっても、約束のメモを見るなどして感情をコントロールできるようになったことから、9月から少人数のグループで実施することとした。

授業の組み立て

？ なかなか課題に取り組んでくれない…。児童生徒と接する際にどのようなことに留意したらよいのかな。

**Key word**

本人の主体性を大事にし、また、反応を丁寧にみる。  
目標に向けて意欲が継続するように、こまめな声掛け、柔軟な対応を。

1. 本実践例の概要



目標を本人に分かりやすい内容にして共有することにより、通級に主体的に参加する意識を高めるようにした。また、本人が選択する場面を設定したり、好きなことを取り入れたりするなどして、本人が参加しやすく、意欲が継続できるように配慮した。

※指導計画の作成・活用・評価・見直しについては第2章0ページ参照

2. 目標・指導内容・年間指導計画



- ・知的発達に遅れはなく、自閉症の診断がある。
- ・他者の意図や感情の理解が苦手であり、クラスメイトとのコミュニケーションにおいてしばしばトラブルを起こすことがある。  
(本人の願い) クラスメイトと休み時間などに楽しく遊びたい。

目標 (年度当初作成例)

- ・誘う、断る、質問するなど、人とのコミュニケーションの仕方を知り、相手の心情を考えた発言や行動ができる。
- ・手先の巧緻性を高め、靴紐やエプロンなどの衣服のひもを結んだり、ボタンなどの留め具を一人で止めることができる。

指導内容 (年度当初作成例)

- ・1週間の出来事をシンボルや簡単な絵などで視覚化しながら聞き取り、気持ちや状況を整理しながら言語化する。
- ・手先の巧緻性を高める課題に取り組む。

**POINT!** ○○○

・目標を本人と共有する際のポイント



3. 指導略案

(1) 今月の目標 (5月の実践例)

- ・教師のメモや絵を見ながら、伝えたい内容や気持ちを時系列に沿って、話することができる。
- ・感情が高ぶっても、約束のメモを見直したり、教師の声かけで短時間で切り替えることができる。
- ・決まった時間細かい作業を続けることができる。

(2) 指導の流れ

**POINT!**

- ・本人が選択する場面を設けるなど、主体的に関わらせることによって意欲を引き出しましょう。
- ・声掛けなど、児童生徒の様子を見ながらすぐに反応することで、意欲が継続するようにしましょう。
- ・教材などに、本人の好きなものを取り入れるなど、意欲が継続する工夫をしましょう。

時間	活動内容	児童の様子	準備・支援・評価
5分	今日の活動内容の確認 ・流れを書いたホワイトボードでタイムスケジュールを確認	・ホワイトボードを見ない、聞いていない	・イラストなど視覚的に示す。また、一緒に声に出して読む
	本人の意欲を引き出すために、活動の流れについて、事前に本人と相談する方法も考えられます。		
10分	フリートーク (今週の出来事) ・今週一番印象に残っているエピソードについて話す。	・エピソードが出てこない。	・保護者などからの情報をもとに、興味のある話題を提供
	「知りたい!」「教えて!」という気持ちを前面に出して聞きましょう。		
13分	担当教師と二人で勝敗のあるゲームの実施 ・ゲームの選択 ・約束事を確認 ・実施 ・振り返り	・ゲームを本人に選択してもらい、取り組みやすくしましょう。 ・約束事が守れた時は、その場ですぐに褒めましょう。 ・振り返り際には、本人が気づいていない点にも触れ、頑張ったところを褒めましょう。	
	こんなときは・・・ ・どうしても約束事が守れない・・・		
7分	お楽しみタイム ・好きなキャラクターの顔をアイロンビーズで作る	好きなキャラクターを活用することで、苦手な作業に取り組みやすくしています。	
5分	今日の振り返り ・各活動について自己評価	自己評価と他者評価を比較することで、より正確な自己評価ができるようになります。特に自分自身が頑張ったと思う点を認めることが重要です。	・教師からの評価とその理由を伝え、自己評価と合わせて振り返る。

4. まとめ

保護者や通常の学級の担任との日頃の情報共有などを大切に、児童生徒が課題に取り組む意欲を引き出すヒントを得ましょう。また、課題に取り組む児童生徒の様子をよく見ながら、声掛けや対応を行うことで意欲が継続するようにしましょう。

詳細な実践例はコチラ QRコード